

## 災害発生時 事業継続計画の策定を問う

小池 信一郎 議員（自民瑞山会）

町長 早い時期に策定に着手したい



質問 平成17年9月、中央防災会議が「首都直下型地震対策大綱」の中で、災害発生時の行政機能継続性を確保するための計画として、事業継続計画を策定することを規定している。町では、地域防災計画の総則・予防計画、第9章に「災害発生時に最短の時間で復旧を可能とし、必要とされる行政機能を確保するため、町政の事業継続計画（BCP）を策定する。」と示されているが、現状と今後の対応について、町長の所見を伺う。



現行の瑞穂町地域防災計画

ともに、情報の管理とバックアップ体制の充実に努めている。被害規模の確認や必要物資などを正確に把握するまでに長い期間を要することから、事業継続計画の必要性が以前にも増して再認識されている。

町は、地域防災計画で事業継続の確保と充実を目標としている。計画の策定に当たっては、今回の災害からの教訓に加え、地域特性に基づく被害想定などに幅広く対応させることが求められる。国や都、専門家などの意見も参考に、早い時期に着手したい。

こんな質問もありました  
「地域自主防災の日の制定は。」

町長 自主防災組織に今回の提案や各種情報を伝え、取り組みに対し支援していく。

## 五小の広域避難場所の再検討を

尾作 武夫 議員（自民清風会）



町長 避難場所指定の変更について検討を急ぎたい



広域避難場所となっている第五小学校

質問 地震等大規模災害が発生すると、建物や電柱等の倒壊、土砂崩れ、法面の崩壊に加え、自動車の放置などにより道路の不通箇所が随所で発生する。万一、大火の危険がある場合は、何も持たずに広域避難場所へ避難する。しかし、その避難所である五小が土砂災害警戒区域に、さらには東側通学路は土砂災害特別警戒区域に指定される。これにより、新たな広域避難場所の再検討が必要と思うが、町長、教育長の所見を伺う。

町長 町には、急傾斜地の崩壊の警戒区域が35カ所、土石流の警戒区域が8カ所示されている。第五小学校の校舎と校庭が土石流の警戒区域に、また校庭南側の一部が崖崩れの特別警戒区域に入っている。詳細図面は学校に提供されている。警戒区域となることを受け、児童の通学路並びに緊急避難経路の見直しを開始した。併せて広域避難場所指定の変更について検討を急ぎたい。また、予防策を講じる必要性について、土地所有者である都などに対し、対策協議を求めていく。

## 長引く不況時に、各部では何を 最優先課題と考えているかを問う

原 成兆 議員（新政自民）



町長 町の持続的な発展を維持すること

質問 「国民の生活が第一」を掲げ、民主党政権が誕生して2年数か月が経過したが、国民の期待を大きく裏切

り、国民生活は以前よりも悪化している。そうした中、ギリシヤに端を発し、世界大恐慌が発生するのはこの報道もされている。

こうした経済及び社会情勢の下、平成24年度予算の編成作業に当たっていることと、何を最優先課題と考えるか、また、その財源について町長の考えを伺う。

町長 24年度予算編成方針では、重点的かつ優先的課題として、町の持続的な発展を維持することを主要テーマとした。実現のためには、無駄の排除、投資と経営の安定化、健康に関わるセーフティネットの維持、安全・安心な地域社会の創造ならびに地域コミュニティの活性化が重要であり、行政活動の変わらぬテーマと考える。

今後の施策の展開にあたっては、限られた歳入構造の中で、施策の選択と集中に取り組みしていく。

## 民間学童スポーツ団体と 教育委員会との連携を

森 巨 議員（自民智政会）

教育長 連携をとり、青少年の健全育成に努めていく



民間学童スポーツ団体の指導風景

質問 学童スポーツは青少年の健全育成に重要な役割を担ってきた。しかし、近年、一部指導者の学童期における身体的影響や精神の発達に対する知識不足や誤認指導により、生涯故障、選手生命の短命化、中学・高校時期の非行化を誘発している」と指摘されている。現在、日本体育協会では、この問題を重く受け止め、啓蒙活動や指導員養成講座を開設したが普及は十分ではない。この状況に対してどのように対策を講じるのか教育長に伺う。

教育長 スポーツは、体力の向上や人間性・社会性を培う上で必要である。しかし、知識不足や誤った指導が子ども達の選手生命の短命化を招いたり、中高生の非行化を誘発したりすることがあつてはならない。日本体育協会が開催する指導者講習会に教員をはじめ、町の多くの指導者の方々の受講をお願いすると共に、町におけるスポーツリーダーの育成方法や支援のあり方を見出した。各種団体と連携を取りながら、スポーツを通じた青少年の健全育成に努めていく。



新年度予算のヒアリング